

地域連携 News

Japanese Red Cross Otsu Hospital

2026
5
vol.37

第二放射線画像診断・IVR部長の就任挨拶

このたび、4月より大津赤十字病院第二放射線画像診断・IVR部長を拝命いたしました百々俊樹と申します。私は2006年に京都大学医学部を卒業し、京都大学医学部附属病院、京都医療センター、倉敷中央病院などで研修を行い、放射線科医としての基礎を築いてまいりました。その後、京都大学大学院では頭部画像診断を専門とし、MRIの新たな撮像法の研究や専門的な疾患まで幅広く学ぶ機会に恵まれました。2016年より当院に赴任し、小林部長や川原部長のご指導のもと、診療・教育など多くの経験を積ませていただきました。

放射線科は、患者さんの前に立つ機会は決して多くありません。しかし、病院全体の診療能力を支える“縁の

下の力持ち”として、極めて重要な役割を果たしています。正確で迅速な画像診断は、病変の発見や診断、治療方針の決定に直結し、IVRは低侵襲で効果的な治療手段として、患者さんの負担を軽減しながら高い治療効果を得られる場面が多くあります。これらの領域をさらに発展させ、病院全体の診療の質向上に貢献できる放射線科を築いていきたいと考えています。また、放射線科の力は、個々の医師の技量だけでなく、技師や看護師とともに形成するチームとしての総合力によって支えられています。働きやすく活気ある職場づくりにも貢献できればと思っております。

近年、AI技術の進歩は目覚ましく、将来的には画像読影が自動化される時代が訪れる可能性があります。しかし、AIがどれほど発展しても、医療の本質である「患者さんに寄り添い、最適な医療を選択する」という部分は、人間にしか担えない領域です。だからこそ、他科の先生方や地域連携医療機関の皆様との協力体制をより強固にし、AIには代替できない価値を提供できるよう、日々の自己研鑽を続けていく所存です。まだまだ至らぬ点多いかと思いますが、地域の皆様、そして院内外の先生方のお役に立てるよう、誠心誠意努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



第二放射線画像診断・
IVR部長

ど ど と し き
百々 俊樹

 日本赤十字社 大津赤十字病院 地域医療連携課

〒520-8511 滋賀県大津市長等一丁目1番35号
TEL.077-522-8535(直通) FAX.077-522-4385(直通)

予約受付 月曜日から金曜日(平日) 午前8時30分から午後7時00分まで
土曜日 午前9時00分から午後1時00分まで



大津赤十字 放射線科

